

感覚研究コンソーシアム・第1回嗅覚ワーキンググループ

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。感覚研究コンソーシアムではこの度、第一回の嗅覚ワーキンググループを開催する運びとなりました。今回特にテーマは設けず、近年嗅覚関連で大変興味深い研究成果をご発表なさっている先生方にご登壇をお願い致しました。まずは、金沢医科大学の三輪先生には漢方薬を利用した嗅覚障害の治療に関するお話を、鹿児島大学の柏谷先生にはアロマセラピーが痛みと痒みに与える影響について、そして海外からはハーバード大学の塚原先生に最新の遺伝子解析から見えてくる嗅覚順応に関する研究成果をご発表頂きます。一連のご発表を通じて、皆様の嗅覚に関する理解を助け、嗅覚が持つ幅広い可能性を感じて頂ければ幸いに存じます。

昨今の状況を鑑みてオンラインでの開催となりました。オンサイトで参加することによって感じられる臨場感がないといったデメリットもあろうかと思いますが、スライドがみやすい、海外で研究されている先生のお話を聞けるなどのメリットもごございます。本ワーキンググループの目的は、アカデミアの嗅覚研究シーズの社会実装へ向けた企業会員の皆様との交流の活性化にあります。せっかくの機会ですので、是非とも、気軽な質問や会話などから交流を深めていただき、自由で有意義な意見交換の場として活用いただけると嬉しく思います。何卒、よろしくお願いいたします。

感覚研究コンソーシアム
嗅覚ワーキンググループ事務局
竹内 春樹（東京大学）

今回は Zoom (<https://zoom.us/>) での開催となります。後日詳細をご連絡させていただきますが、参加する際にはご所属とお名前をご明記していただき、ディスカッションの際にはビデオをオンにさせていただく予定です。また、ご参加いただきました企業様、アカデミア会員様には後日アンケートを送らせていただきます。お忙しいところ恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。

開催予定

5月13日（金曜日） 於 Zoom（詳細は約1週間前にメール配信）

- 13:00 – 13:05 「開会のあいさつ」
東京大学大学院薬学系研究科
竹内 春樹
- 13:05 – 13:45 「遺伝子発現を介した環境への長期的順応メカニズム」
Harvard Medical School・Postdoctoral Fellow
塚原 達也 先生
- 13:45 – 14:35 「嗅覚障害治療における神経栄養因子の役割と応用」
金沢医科大学耳鼻咽喉科・教授
三輪 高喜 先生
- 14:35 – 15:15 「リナロール香気刺激が痛みと痒みに与える影響」
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科統合分子生理学・講師
柏谷 英樹 先生
- 15:15 – 16:00 相談会：講演者ごとに個別ルームで相談会。参加者はどの小グループへも自由にご参加・移動できます（企業会員限定）。